

## 熊本の技術でタイの道路補修

～アスファルトの再利用による安価で簡便かつ確実な道路補修を実現～

国際協力機構（JICA）は8月23日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」において株式会社九建総合開発（熊本県熊本市、新永隆一 代表取締役）が提案する「地域経済・生活に直結する地方道路維持管理に有用な補修工法に関する案件化調査」（タイ国）を採択しました。

近年経済発展の著しいタイ国の道路総延長は50万kmを超え、初期に整備した区間は建設後30年を超えて今後深刻な老朽化が懸念されています。さらに、大型車両の通行や降雨による損傷が随所に見られ、適時適切な補修工事が必要とされています。

同社は、移動式アスファルト再生機（ASRR-B2）を用いて、工事現場の劣化した既設アスファルトを再生・再利用して道路補修工事を行うという革新的なASRR（Asphalt Reuse Recycle）工法を開発し、その改良を加えながら実績を積んできました。この工法は既設アスファルトを再利用するため経済的であるばかりでなく、アスファルトプラントが近くにない地域でも迅速かつ機動的な補修工事が可能となるので、今後膨大な量の道路補修工事が必要となるタイ国にとって大変有用な技術とされます。



移動式アスファルト再生機（ASRR-B2）

今回の調査では、移動式アスファルト再生機をタイ国に持ち込み、道路維持補修計画に有用な路面調査（NTT 西日本熊本支店）と合わせてテスト施工を行い、その実用性や経済性を実証して認知度の向上を図り、将来のビジネスに繋ぐことを目的としています。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012年度から実施されており、2019年度第一回分は本年4月に公示を行い、46件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）2019年度第一回「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」：100件の採択を決定

URL：[https://www.jica.go.jp/press/2019/20190823\\_10.html](https://www.jica.go.jp/press/2019/20190823_10.html)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州 市民参加協力課 上島・勝田

TEL 093-671-8204 e-mail: katsuta.yukihide2@jica.go.jp